令和4年 第11回

みなかみ町農業委員会議事録

開催日時 令和4年11月10日（木曜日）

みなかみ町農業委員会事務局

みなかみ町農業委員会第11回会議議事録

- 1 開催日時 令和4年11月10日 午後1時30分
- 2 開催場所 月夜野農村環境改善センター
- 3 出席委員 16名
1番委員 榎 洸 武 重 2番委員 近 藤 民 治 3番委員 内 海 博 光
4番委員 林 功 6番委員 青 柳 健 市 7番委員 鈴 木 保 雄
8番委員 中 島 博 恵 9番委員 須 藤 栄 寿 10番委員 阿 部 均 司
11番委員 藤 井 好 博 12番委員 庭 野 明 13番委員 阿 部 敏 男
14番委員 原 澤 幸 好 15番委員 原 澤 章 16番委員 田 村 隆 司
19番委員 中 島 工 リ
- 4 欠席委員 3名
5番委員 齊 藤 忠 17番委員 高 橋 品 子 18番委員 戸 澤 奈 実 恵
- 5 議事録署名委員
16番委員 田 村 隆 司 2番委員 近 藤 民 治
- 6 職務のため本会議に出席した事務局職員等の職・氏名
事務局長 中 澤 聡 書記 本 間 泉 書記 我 妻 園 華

- 7 会議に附した事件
議案第39号 農地法第3条の規定による許可申請について
議案第40号 農地法第5条の規定による許可申請について
議案第41号 農用地利用集積計画に対する意見決定について
議案第42号 農用地利用集積計画に対する意見決定について（一括方式）

協議事項・報告事項

- (1)農地法第18条第6項の規定による通知について
- (2)非農地通知の発送について
- (3)一時利用届について

その他

- 8 会議の成立
農業委員会等に関する法律第27条第3項により本会議が成立する。

開 会 みなかみ町農業委員会職務代理原澤章開会を宣す。

開 会 末

議 長 会長議長となり、議事録署名委員に16番委員田村隆司・2番近藤民治委員を指名し議事に入る。

4議事に入りたいと思います。議案第39号農地法第3条の規定による許可

申請について、事務局より一括で説明がございます。お願いいたします。

事務局

1ページをお開きください。

議案第39号、農地法第3条の規定による許可申請について、次のとおり農地法第3条の規定による許可申請があったので、決定を求める。

別紙記入事件、4件。

次のページをお開きください。

◇（議案書・順次、朗読説明）

以上、よろしくお願いいたします。

議長

ありがとうございました。

1番より順を追って審議に入りたいと思っております。

番号1番の担当地区の現地の調査報告をお願いしたいと思っております。よろしくお願いいたします。

2番委員

今日はどうもお世話になります。調査報告をする前に、先日はおふくろの葬儀のときには大変すみませんでした、いろいろ。みなかみ町農業委員として線香を上げていただきまして、本当にありがとうございました。お礼申し上げます。

これから、調査報告を申し上げます。

2番、〇〇区担当の近藤です。

農地法第3条による申請事案の調査報告について報告いたします。

申請地は〇〇、〇〇の本当にすぐ目の前と言うんですか、すぐ下側です。11月4日に現地調査を行いました。

同日、申請者の〇〇さんに確認いたしました。譲渡人の方が耕作できないということのため相続で土地をうけたんですけど、できないために譲受人が申請地を耕作したいということであります。

耕作意思の確認についてですが、11月4日、本人の意思も確認でき、実行は確実と思われれます。耕作面積は畑、田んぼを合わせて18,298㎡、耕作面積があり、下限面積を上回っているため問題はありません。周辺農地の営農状況の支障の有無ですけれども、今の農村景観を保ちたいということで、水田など耕作して、計画されております。特に支障はないと思います。

そのほかに懸念事項は特にございません。

以上、よろしく審議お願いいたします。

議長

ありがとうございました。

ただいまの説明につきまして、この案件につきまして皆様のほうからご質問がございますでしょうか。

（「なし」の声）

なしの声がありましたが、よろしいでしょうか。

（「はい」の声）

質疑がございませんので、議案第39号1番は許可といたします。

続きまして、議案39号2番担当地区の調査説明をお願いいたします。

3番委員

3番、〇〇地区担当の内海です。

農地法第3条による申請事案の調査について報告いたします。

申請地は〇〇線〇〇から山沿いに500mほど入った土地になります。11月6日に現地確認し、その後、7日に申請者の〇〇さんのお宅を訪問し、いろいろ話を聞いてきました。申請者は現在施設に入っており、農業経営も1年間休んでいるというようなことです。それで、立派な水田をやっているわけですが、できればこの水田をだれかに引きついで欲しいです。そして、〇〇さんと〇〇さんとの関係ですけれども、この隣に家があるんですけれども、その隣の家に〇〇さんの兄弟の方が住んでおります。そんな関係でどうですかということが決まったようです。そうした流れでいわゆる委任されている行政書士の〇〇さんからも話を聞きました。基本的に〇〇さんの作る土地を相続してほしいというような意向もあって、それも受けながら、〇〇さんは現在、田んぼといろんな土地で野菜をつくっているということで、それで続けて耕作できるということで喜んでました。

そんな関係で、権利を取得する者が耕作する意思については、もうこれは確実であるということです。また、取得後の耕作面積についても全然問題ないということです。また、周辺農地への関係ですけれども、これも道路を挟む又、兄弟の家をはさむということで、特別問題なく、地域のいろんなものも、もしあれば協力するというような意思を確認いたしました。

以上で、説明を終わります。審議をよろしく願いいたします。

議長

調査ありがとうございました。

ただいまの報告を受けまして、皆様のほうからご質問を受けたいと思っております。いかがですか。

質疑がなければ、2番は許可といたしたいと思いますが、いかがでしょうか。
(「はい」の声)

では、議案第39号2番は許可といたします。

続いて、議案39号3番、4番、その審議に入りますが、1つずついきたいと思しますので、3番からお願いできたらと思っております。

担当地区の調査報告をお願いしたいと思します。

6番委員

6番、〇〇担当の青柳です。

農地法第3条による申請事案の調査結果について報告いたします。

この申請地ですけれども、〇〇から〇〇方面へ向います。〇〇橋から〇〇川の下流におよそ900m位の農地で、〇〇発電所の対岸の〇〇川沿い土地でございます。11月5日に現地調査を行いまして、申請者の〇〇さんに確認いたしました。譲渡人が高齢で担い手がいないということで、譲受人に申請地を譲りたいということで、出された案件でございます。

耕作の意思の確認につきまして、11月5日に確認をさせていただきました。この世帯については水稲と、今現在は乾燥イモ、以前は養蚕を主体的に経営をやっておりました。取得した土地についても耕作をしていきということで、実行性は確実と思われまます。耕作面積は畑、田んぼ合わせて58,110㎡の耕作地があり、下限面積を上回っておりますので、問題はありませぬ。周辺農地の営農状況の支障でございますけれども、今現在は水稲と乾燥イモですけれども、以前やっていた養蚕については今はやめているのではなく、休んでいるというようなことでございましたので、特に支障はございませぬ。

その他の懸案事項についてもございません。よろしく願いいたします。

議 長

現地調査の説明、ありがとうございました。

皆様のほうからご質疑ございませんか。

じゃ、私のほうからいいでしょうか。1番の榎渕武重でございます。

この反対側部分のやぶの中が取水口〇〇線のほうから降りたところもいちど〇〇さんが取得なされて田んぼを大分荒廃しているんですが、そこも取得なされて、今、ここに書いてある手つかずとかということで、3条案件でございました。でも、いまだ現在そこはやっぱり荒廃農地であって、なかなか手がつけられない状況があります。されど自分でやって、やっぱりこれは耕作をしていただくということが前提でございますので、その辺で今回の案件につきまして、水田だからつくっていただける自分ちの地つづきでということで、これは耕作が可能なのか、それとも無理なのか。先ほど調査では耕作したいということでございますが、その辺の確認をもう一ついかがでしょうか。

6番委員

今回は申請の水田ですけれどもこの申請地のとなりが〇〇さんの水田ですので、特に耕作しないと言う状況が生まれるということはありません。

議 長

すみません、司会やったりとでややこしいですが、ありがとうございます。

ほかに皆さんのほうから何かご質問ございますでしょうか。

なければ、許可ということでよろしいでしょうか。

(「はい」の声)

では、議案第39号3番は許可といたします。

引き続きまして、引き取り手は同じ方でございますが、4番のほうに移らせていただきます。

担当地区の委員さんの調査報告をお願いいたします。

6番委員

6番、〇〇担当の青柳です。

農地法第3条による申請事案の調査結果について報告いたします。

申請地は〇〇区の地区内に点在する農地でございます。11月5日に現地調査を行いました。同日、申請者の〇〇さんに確認いたしました。譲渡人が相続により取得した農地、お話ですと、現在〇〇に住んでいるわけでございますけれども、こちらに住む予定がないので、相続して取得した不動産の全部、この際、高齢になったので処分をしたいということで、譲渡人のほうに買ってもらいたいということでお話があったということでございます。

耕作の意思の確認でございますけれども、11月5日に意思を確認させていただきました。桑園の面積が多いわけでございますけれども、養蚕については休んでいるということでございますけれども、また再開すれば桑園として利用して、普通畑についてはサツマイモを栽培していきたいというようなお話でございました。耕作面積は田畑合わせて28,110㎡の耕作面積があり、下限面積を上回っておりますので、問題ありません。先ほど申しましたように、普通畑についてはサツマイモの栽培を計画していることで支障はありません。

その他の懸案事項についてもございません。よろしく願いいたします。

議 長

ありがとうございました。

皆様のほうからただいまの説明でご質問がありましたらお願いいたします。
すみません、また1番、櫛淵で質問してもよろしいでしょうか。

すみません、私のほうからやっぱり先程とダブってしまうんですが、3条で移転されて、やっぱり耕作などの見通しが立たないようなところはちょっといかがかな。そのまま、それともっておられる方は〇〇とか遠いので、これ致し方ない部分もあるのかなと、そういうところも考慮しますが、やはりどういう見通しであるかももう一度しっかり確認されて、耕作をいただく。遊休農地、荒廃農地を解消するためにも、そのようなふうに持っていただけると。これ、事務局、どういう扱いにできますか。今回でもう決定できますか。いかがでしょうか。

事務局

確かに今回調査する中で現地も確認させてもらったんですけども、かなり耕作状況厳しいところもあると思います。ただ、今お持ちの方でできなかったものよりも新しい方が近場であるということ、かなり面積拡大して、先ほどの桑園はむずかしいと思うんですが、かなりサツマイモのほうはつくる意欲はあるのかなという気はしております。ただ、条件が厳しい場所もかなり多うございますので、その辺については、ご本人が意思があるということであれば、やむを得ない所でしょうがないのかなと個人的には思います。ただ、私は、申し訳ないけれども、事務局でありますので審議に参加することはございませんので、その辺をご理解下さい私の個人的な意見です。

以上です。

議長

ありがとうございました。

何か少しすっきりしない部分があるんですが、できたら計画的な計画書みたいなものを出して、しっかり後日委員さんにはそのようなことをお伝えいただければと思っておりますが、いかがでしょうか。難しい。耕作をしていただきたいということを伝えていただくということで。

6番委員

この地区、自分も住んでいるんですけども、桑園についてはほとんど桑原と言うんですか、山林の様相を呈しているところが多いんですけども、今回の関越高速の上にある全体として桑林です。ただ、この〇〇さんちの経営は大きな重機も所有しております。一般的な農家ですと、そういう重機も持っていないので、開拓するのは大変かと思っておりますけれども、そちらを利用すれば耕作できると思っておりますけれども、一気にできるような場所でもありませんので、おいおいですけども、逆に今回いろいろお話聞くと、譲渡人の〇〇さんはどうしても今のうちに自分の代で不動産を処分していきたいという、変な話ですけども、宅地や農地も全部処分したいというお話で、買ってもらえるのは〇〇さんしかいないということで、逆に自分の持っている土地を全部引き受けてほしいということで、逆に泣きつかれたんですよというふうな話があったみたいで、いろいろあると思っておりますけれども、やむを得ないかなというふうに自分は判断しました。

以上です。

議長

ありがとうございました。

今、繰りかえしになってしまいますが、できれば耕作して、荒廃農地、それ

から遊休農地の解消を抱えておりますので、できる限り耕作できて、お願いできればと申し添えていただけたらありがたいと思っております。これで私のほうは終わります。

はい、どうぞ。

10番委員 10番の阿部なんですけれども、今回の農地の売買のことなんですけれども、譲受人が今何か写真を見た範囲内だと、結構荒れているような農地がたくさんあるような気がするのですが、一応それを譲受人が確実に耕作をする意思があるかどうかということが重要だと思いますので、ただ、農地を処分をしたいから農地を持っている人に売買するというのはちょっと筋が違うのかなという、方法は別に農地のほうじゃなくても、農地の除外申請をして処分するというのもあり得ると思いますので、必ず譲受人が要するに農地として利用するという意思が重要ではないかと思っておりますので、よろしくお願ひします。その辺はどうなんでしょうかね。

議長 我々どういうふうな方向で持っていったらいいか、私にはちょっと今つかないんですが、先ほど担当地区の説明の方では、重機も持っているし、おいおいやられるんじゃないかというようなお話をいただいておりますが、確実性を持ったほうがよいし、それこそ計画書みたいなものを添付したほうがいいですか、それとも担当の委員さんに地元と、今のことをお伝えしていただくぐらいでよろしいでしょうか。

10番委員 譲受人がこれから農地としてどういう形にしろ利用していきますという確約が取ればやむを得ないのかなという気はしてますけれども。

議長 皆さんのほうからご意見ございますでしょうか。
青柳さんというような方法が今言われたような方法以外に、その確約を取られるということはなかなか難しいでしょう。お話の段階で。

6番委員 実際の話、農地として利用したいということで農地法3条の申請を出していただんですけれども、これが意思だと思っんですけれども、転売目的で買うということではない。農業経営をきちんとしてないで農地を取得するということがあれば問題だとは思いますが、これだけの規模の農業経営しております、また、認定農業者でもありますので、自分としては問題ないんじゃないかと思いがた思いますが、計画書を出す。いつまでになのか、そういう条件をつくれるのかどうか。今現在は既に手がついてなくて荒れてる農地ですので、すぐすぐきれいに耕作できる状況にするのも大変だと思っんですけれども、確約書を取るべきなのかその辺は分からないですけれども。農地として利用したいということで、逆にこの取得後、違うものに転用したり、他の方に売買というか、土地転がしということをご予想されるのであれば、許可しないほうがいいのかと思いがた思いますが、それは考えられないと思いがた思っています。よろしくお願ひします。

議長 ありがとうございます。
阿部さん、いかがでしょうか、ただいまの説明で。

10番委員 一応農家が農地を取得する、一応取得理由が経営規模拡大ということがようするに取得の理由なわけですから、この方が何もしないとはいえませんが、ある程度やっぱりそれに沿った経営内容じゃないと、ちょっとおかしいのかなという気はしますので、事務局に聞くんですけども、何かあったときにはその始末書という形があると思うんですけども、そのような形で必ず農地として利用するというような確約書みたいな形というのは取れるんでしょうか。

事務局 特に一応この申請書には営農計画書がついていて、こういうふうにやりますというふうに記載するところがありますので、そこがつかわないのであれば、取得しても農地をつかわないのであれば、それを協議したいということになると思います。ある意味そこに今回の農地として使うという申請の根拠があると思われま。こちらの方〇〇さんまだ年齢も40代だだと思われま。認定農業者としてかなり先ほどもお話ししたとおり、過去にはお父さんが養蚕をやられていて有名な方と聞いていますが、今そちらから水稲もやられてますけれどもサツマイモを乾燥イモやるような事業もしてあって、過去には県の補助金、又は国の補助金を受けて、そういう施設も取得したとたしか覚えておりますので、先ほどの青柳委員が言ったとおり、譲受人のほう荒廃地もつけて農地を引き受けてほしいところもあってかなり厳しいところもあるんですが、全部やっぱりそういう厳しいことじゃないとも思われま。場所を選択して、確実性を持たせるかどうかというのはまたちょっと難しいところもございと思われま。経営状況からすると、規模拡大というのは信頼性があると判断しておりますので、もしそういう意味では農業委員会のほうで全部使うのを厳しいですが、努力してくださいということをお願いして、するよりやむを得ないのかなと感じて、許可を出すのであれば、それでやるより致し方がないのかなと思っております。

以上です。

議長 ありがとうございます。

先ほど阿部さんの言われたような、それから罰則規定とか、そういうのはなかなか農業委員会でも慎重に考えてお出ししないといけないと考えております。いろんなことを考えないといけないと思っておりますので、ここで結論を出すことはできないと思っております。

それと、今言われたことを皆さんの意見を踏まえたことで、事務局からのご連絡、許可をしていいかまだ分かりませんが、その意見を踏まえた上で、〇〇さんのほうに伝えていただくという格好にしたいと考えていますが、阿部さんの意見はいかがでしょう。

10番委員 今、事務局のほうからまとめていただいたんですけども、意見書みたいな形で確実に農地として利用することを実行してくださいという文面でも附則でつけていただければいいのかな。ただ、今後農地を処分したいから、農地を有効利用しなくても取得できるんだみたいな風潮が今後また出ていくと、ちょっとどうなのかなということもありますので、農地を農家が取得するということは先ほども言いましたけれども、農業を拡大するために農地を取得することが前提になっているものから、その辺をちょっと心配されることで

あります。あと、地元の農業委員さんに農地としての利用状況と言うんですかね、要するにある程度ここにこういうことをして、農地として利用するようなことをやっていますよみたいなことは見えれば、それはそれで仕方がないのかなと思ってますけれども、以上です。

議 長

ありがとうございました。
事務局、先ほどの阿部さんのご提案を受けていただけますでしょうか。

事務局

当然ご存知のとおり毎年農地パトロールをやっております。あまりひどいと、国のほうとしては守るべき農地とそうでない農地を区分けして非農地化を進めなさいという意見が、こういう例えば厳しいところは非農地にする傾向も多分増えてきている。案件については当然、この後も出ますけれども、そういう傾向は増えてます。ただ、農業委員会からこういう厳しいところだから、農地として使えないでしょう。だから、非農地ですと当然言えませんが、なるべく遊休農地にならないように、取得した方もしくは今取得している、持っている方についてもそういうのをお勧めして、なるべく解消する努力をしていきたいとは考えているところなんです。なかなか資金も手も時間もありませんから、苦慮しているところがございますので、そちらについてはその旨ご理解していただいて、遊休化にしないような話を常に取得される方にはお話できるように事務局としては話してしたいし、荒廃化しないような、もしくは仕分けをするようなことはすすめていく傾向にあると思いますので、努力していきたいと思っております。
以上です。

議 長

先ほど阿部さんのご提案で、これからどっちに転ぶか分かりませんが、皆さんに賛成いただければ、そのご連絡をするときに、ただいまの意見、皆さんからの、委員から出た意見を付して伝えてくれという阿部さんの提案があったかと思っておりますので、それもお願いしたいことと、地元の委員さんにこれをちょっと以後の経過を見ていただきたいということをお願いできればという格好にしたいと思っておりますが、いかがでしょうか。それでよろしいですか。

(「はい」の声)

皆さんのほうからほかに質問ございませんか。

なければ、議案第39号4番は意見書をちょっと申し添えて、許可といたしたいと思っております。よろしいでしょうか。

(「はい」の声)

ありがとうございました。

続きまして、議案第40号 農地法第5条の規定による許可申請について、事務局よりご説明をお願いいたします。

事務局

4ページをお開きください。

議案第40号 農地法第5条の規定による許可申請について。

次のとおり、農地法第5条の規定による許可申請があったので、意見の決定を求めます。

別紙記入事件、2件。

次のページをお開きください。

◇（議案書・順次、朗読説明）
以上、よろしくお願いいたします。

議 長 ご説明ありがとうございました。
それでは、農地法第5条1番より審議に入りたいと思いますが、担当地区の調査報告をお願いいたします。

7番委員 お世話になります。7番、〇〇地区担当の鈴木でございます。
農地法第5条による申請結果ついて報告をいたします。
申請地は〇〇駅、東側、直線で約150mほどの場所でございます。現地調査は11月4日に行ってまいりました。譲渡人申請者、〇〇氏に確認いたしまして、間違いないことを確認いたしました。また、譲受人はここを駐車場にしたいということで、車3台ぐらいを80㎡。行ったときにはこここのところ畑ではあるんですけども、篠原みたいな、雑草地みたいなことでございます。ここを駐車場にしたいということでございました。また、確認しましたけれども、この地域利用上畑、また現状、隣接地など周辺への営農条件、また考える支障は発生することはないと思っております。
その他支障ないと思っておりますので、よろしくご審議いただきたいと思います。

議 長 ご報告ありがとうございました。
ただいまご報告を受けまして、皆様のほうからご質疑ございましたらお願いいたします。
ないようですので、承認という形でよろしいでしょうか。
（「はい」の声）
それでは、議案第40号1番は許可することといたします。
続きまして、議案第40号2番について、担当地区の調査報告をお願いしたいと思っております。

11番委員 11番、〇〇担当地区の藤井です。
農地法第5条による申請事案の調査結果についてご報告いたします。
申請地は3か所ありまして、〇〇より東へ約500mほどになります。もう2件は〇〇より東へおよそ500m、もう1か所は〇〇より南へ200mのところであります。11月5日、現地調査を行い、翌日、申請者の〇〇さん、〇〇さん、〇〇さんに確認いたしました。〇〇さんが休耕中の畑、田に鉄塔を立てる計画をされています。転用目的の確実性につきましては、申請書、見積書、設計書、資金が確認でき、早めに着工したいとのこと。実行は確実と思われれます。
申請面積の妥当性ですが、周辺の状況から適当と思われれます。周辺農地の営農条件への支障の有無ですが、周辺農地の営農を行う上で支障が発生する見込みはございません。同様に、転用することによって生ずる付近の農地、作物の被害の防除処置についても想定される被害等はないと思われれます。
その他に想定される懸案事項は特に見当たりません。よろしくご審議いただきますようお願いいたします。
以上です。

議 長

調査報告ありがとうございました。
〇〇ということで、半分は公共性があるのかなという案件でございますが、皆さんのほうからご質問いただければ。
なければ、この案件、許可相当と考えてよろしいでしょうか。
（「はい」の声）
議案第40号2番は許可相当といたします。
続きまして、議案第41号 農地利用集積計画に対する意見決定について、事務局より説明を求めます。

事務局

6ページをお開きください。
議案第41号 農用地利用集積計画に対する意見決定について。
次のとおり、農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定による農用地利用集積計画書の提出があったので承認を求めます。
別紙記入事件、1件。
次のページをお開きください。
農用地利用集積計画概要でございます。
田の賃貸借の通年2,673㎡、利用権存続期間は5年、2,673㎡、合計が2,673㎡です。貸し手は1戸、借り手も1戸でございます。
8ページに総括表がございますので、ご覧いただくようお願いいたします。
農業経営基盤強化促進法第18条第3項の各要件を満たしていると考えます。
以上、よろしく願いいたします。

議 長

ありがとうございました。
ただいまのご説明につきまして、皆さんのほうからご質問をお受けしたいと思っております。
なければ、承認という形でよろしいでしょうか。
（「はい」の声）
41号は承認といたします。
続きまして、議案第42号 農地利用集積計画（一括方式）について、事務局より説明がございます。

事務局

9ページをお開きください。
議案第42号 農用地利用集積計画に対する意見決定について（一括方式）。
次のとおり、農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定による農用地利用集積計画書の提出があったので承認を求めます。
別紙記入事件、1件。
次のページをお開きください。
農用地利用集積計画概要でございます。
田の使用貸借の通年5,587㎡、利用権存続期間は10年、5,587㎡、合計も同じでございます。貸し手は4戸、借り手は1戸でございます。
11ページに総括表がございますので、ご覧いただくようお願いいたします。
農業経営基盤強化促進法第18条第3項の各要件を満たしていると考えます。
以上、よろしく願いいたします。

議長 ありがとうございます。
ただいまのご説明に際しましても皆さんのほうからご質疑ございますでしょうか。
なければ、この件に対しても承認という形でよろしいでしょうか。
（「はい」の声）
では、議案第42号は承認といたします。
続きまして、大きな5番でございます。協議事項・報告事項に入ります。
農地法第18条第6項の規定による通知について、事務局より説明がございます。

事務局 12ページをお開きください。
申し訳ありませんが、1点訂正をお願いいたします。
番号2の解約成立日を令和4年9月20日に訂正いただきますようお願いいたします。
報告させていただきます。
◇（議案書・順次、朗読説明）
以上、よろしくをお願いいたします。

議長 ありがとうございます。
ただいまの説明に対して皆さんのほうからご意見、質疑ございますでしょうか。
なければ、承認と決定いたしたいと思っております。ありがとうございます。
（2）の非農地通知の発送について事務局より説明がございます。

事務局 13ページをお開きください。報告第2号 非農地通知の発送について報告いたします。
◇（議案書・順次、朗読説明）
以上、よろしくをお願いいたします。

議長 すみません、ありがとうございました。
これについて、以前、この通知を出すという事務局の説明がありましたが、それにのっとった措置でございますか、事務局。

事務局 ご説明申し上げます。
会長おっしゃっていただいたように、今回の案件については、通常であれば農地でないことの証明の依頼があつて調査に行くところですが、こちらの件については右から3番目の議決年月日、こちら、1番については当時、平成21年の6月25日に既に当時の農業委員会で非農地の判断をしたところがございます。それについては新たに申請があつた場合は、新たに非農地の証明を出すのは、農地でない証明を出すということではなくて、そちらのこのときの当時の議決に従つて、その議決の日付で発行日としてこちらの日で書かせていただいたということがございます。担当地区の農業委員さんにはその旨、お知らせをするという形を取らせていただくことを申し上げさせていただきます。
以上です。

議 長

ありがとうございました。
ただいまのご説明で、今、通知を出したということですが、これについて皆様のほうからご質問ございますれば受けたいと思っております。
ご意見ございませんでしょうか。
なければ、この案件は承認という形にしたいと思いますが。
(「はい」の声)
はい、ありがとうございます。では、承認と決定いたします。
皆様のほうから協議事項があるようでしたら、ございませんか。
すみません、誠に事務手続で申し訳ないです。こちらのじっくり目を通しておけばよかったんですが、大変皆さんにご迷惑をおかけいたします。
協議事項・報告事項の(3)に移りたいと思います。
事務局より説明をお願いします。

事務局

14ページをお開きください。
協議事項・報告事項(3)一時利用届による届出について報告いたします。
◇(議案書・番号1、朗読説明)
以上よろしく願いいたします。

議 長

ありがとうございました。大変私の不手際でご迷惑をおかけいたしております。
ただいまの説明で皆様のほうからご質問ございますでしょうか。
なければ、承認という形を取りたいと思いますが、いかがでしょうか。
(「はい」の声)
ありがとうございます。
決定といたします。
皆さんのほうから何か協議事項とかご提案ございましたらお願いいたします。
なければ、以上で議事、報告事項の全てを終了したいと思っております。
その他に移りたいと思います。
皆さんのほうからいかがでしょうか。
なければ、事務局より何かご提案と伺っておりますので、お願いいたします。

事務局

特にございませんが、この終了後に除外の審査会を開催させていただきますので、そちらだけ申し上げさせていただきます。特にございません。

議 長

以上で全ての議事、それから報告事項を終了いたします。
以上です。

閉 会

みなかみ町農業委員会職務代理原澤章閉会を宣す。

〔午後2時48分〕